

セファロ知識を臨床に活かす
～シークエンシャルオクルージョンのコンセプト～

前川泰一

ナソロジーから進化を遂げたシークエンシャルオクルージョンの咬合理論は、デジタル化が進むずっと前から顎の動きを可視化し、セファロ・模型を分析し、患者一人一人の適正な下顎位を診断してきた。その分析項目の中でも最も臨床的で重要なのがセファロの分析だと考えている。CT 画像をフェーズ画像と重ね、バーチャル咬合器を使って設計することが当たり前のようになりつつある世の中であるからこそ、2次元の診断であるセファロ分析は最低限理解していなければならないのではないだろうか。

そのために、今回はシークエンシャルオクルージョンのコンセプトをお伝えし、実習を通してセファロ分析を理解していただければと考えています。